

平成18年度を振り返って

(財)日本ラグビーフットボール協会

創立80年を迎えた日本協会は11月4日創立記念式典を開催し、多くの関係者にご列席を頂いた。

協会ビジョンである「ラグビー競技が誰からも愛され、親しまれ、楽しめる、人気の高いスポーツにする」ことの実現を目指して、次の事業を実施した。

重点事項

- 1 - 日本代表の強化・競技力の向上 6回連続W杯の出場権を獲得した。また2011年のW杯においてベスト8を勝ち取る為に、代表事業部を新設し、太田GMを柱にスタッフ陣の充実を図り、目標に向かって、各種大会・強化試合・合宿等を実施した。
 - 2 - トップリーグ50万人動員作戦の展開・H20年度達成 試合主管協会・開催地協会との連携強化による、各動員目標を定め各施策を実施した。平均動員数 = 1会場4275人・前年比117% 総動員数 296千人・前年比129%
 - 3 - 競技人口の拡大 三地域協会・都道府県協会・日本協会との連携し、青少年向けの各大会・研修会等を実施したが、競技人口の拡大に繋がらなかった。特に高等高校の競技人口が激減した。(655人)
競技者登録数(スクール・中学・高校・大学) = 18年度 83982人 +181人 前年比100.2%
 - 4 - 観客数の増加 主な試合の告知(ポスター・テレビ等)・前座試合・子供達のイベント・場内売店等の動員策およびラグビーファンマガジン0号(フリーペーパー)10万部作成・全国に配布した。
動員数 = ジャパン・トップリーグ・大学選手権・日本選手権で444225人 前年比104.6%
 - 5 - コーチ有資格者の増加 > JRFUコーチ資格取得研修会を定期的に各地で開催、多くの資格者を養成した。18年度現在・資格者(トップコーチ・強化コーチ・育成コーチ・スタートコーチ)は8000人突破した。
 - 6 - 協会組織みなおし
各委員会に担当理事を任命し事業計画を促進した 事務局も委員会と連動した組織とした。
委員会の統廃合 18委員会を7委員会に統合し、連携強化を図った。
職員参加の人事改革プロジェクトを設置し、職員の人事制度改革を検討し、あるべき職員像を明確にした。
執行理事制度の維持・推進
RWC招致遺産の継承のため国際委員会を新設し海外との交流活動を実施した。
 - 7 - マーケティング活動の積極的な展開 マーケティング委員会が協賛活動を展開し、新規協賛を獲得した。
 - 8 - 日本協会創立80周年記念行事 11月4日(土)記念試合(秩父宮ラグビー場)および式典・祝賀会(パレスホテル)の実施。
式典および祝賀会出席者1006人
- 主な国内大会について
ジャパンラグビートップリーグ(リーグ戦・マイクロソフトカップ)
今年からプレーオフ制を導入し、リーグ戦上位4

チームの東芝・サントリー・ヤマハ発動機・トヨタ自動車が出場した。決勝は東芝(リーグ1位)がサントリー(リーグ2位)に14 - 13で劇的な逆転勝利で3連覇を果たした。

(観衆：秩父宮ラグビー場・23067人・満員札止め)
- 第43回全国大学選手権 6大会連続で同一カードになった。決勝は関東学院大学が早稲田大学を33 - 26で破り、6度目の優勝を果たした。(観衆：国立競技場・31954人)

- 第44回日本選手権 東芝(トップリーグ1位)がトヨタ自動車(同3位)を19 - 10で破って2年連続6度目の優勝を飾った。

東芝はトップリーグに続き2冠を達成。今季限りで退任する薫田監督の花道を飾った。(観衆：秩父宮ラグビー場18618人)

- 第86回全国高校大会 Aシード同士の決勝、東海大仰星高が東福岡高に19 - 5で勝ち、7大会ぶり2度目の優勝を果たした。近畿勢は9大会連続での制覇。惜しくも九州勢の優勝はならなかった。

その他、高校選抜(優勝 東海大仰星)・高校セブン(カップ優勝 近畿選抜)・全国クラブ(優勝 タマリバ)・全国地区大学(優勝 中京大)全国高専(優勝 宮城高専)・全国ジュニア・女子交流・三地域協会対抗・朝日招待等々を開催した。また、全国に浸透してきた、全国小学生タグラグビー大会も開催した。

主な国際試合・遠征について

7人制日本代表が第15回アジア競技大会で金メダル獲得した

日本代表は4月、2007W杯アジア地区第一次予選、対アラビアンガルフを82 - 9で破りさらに、対韓国戦(兼定期戦)にも50 - 14で勝利し、11月の最終予選へ駒を進めた。

6月には強化試合として世界17位のグルジアとのテストマッチで32 - 7で勝つ。また6月からは、IRBティア2の強化戦略として、新しい国際大会、パシフィック・ファイブネーションズが日本・Jr.オールブラックス・トンガ・サモア・フィジーの5カ国総当戦に参加した。結果は全敗。6月には対イタリア戦(ランキング12位)も52 - 6と敗れ、世界ランキングを上げることができなかった。

1月には2007W杯アジア地区最終予選が行われ(スリランカ治安が悪く香港に変更)香港に52 - 3・韓国にも54 - 0と圧勝し、W杯連続出場を勝ち取った。

・U19・アジア大会 7人制 = 15人制とも優勝(台湾・高雄)

・U23 NZ遠征 4勝1敗・女子日本アジアセブン5位(ウズベキスタン)・高校代表豪州遠征 2勝1敗の結果であった。

・今年もサニックス・ワールド・ラグビーユース交流大会を世界8カ国・日本の高校8チームで行われた、東海大仰星が3位(1位NZ・2位南ア)入った。

平成18年度も重点事業を中心に各委員会を通じて諸事業を展開した。関係各位のご支援、ご協力に感謝します。

平成18年度事業報告

平成18年度加盟チーム登録数

1. チーム数

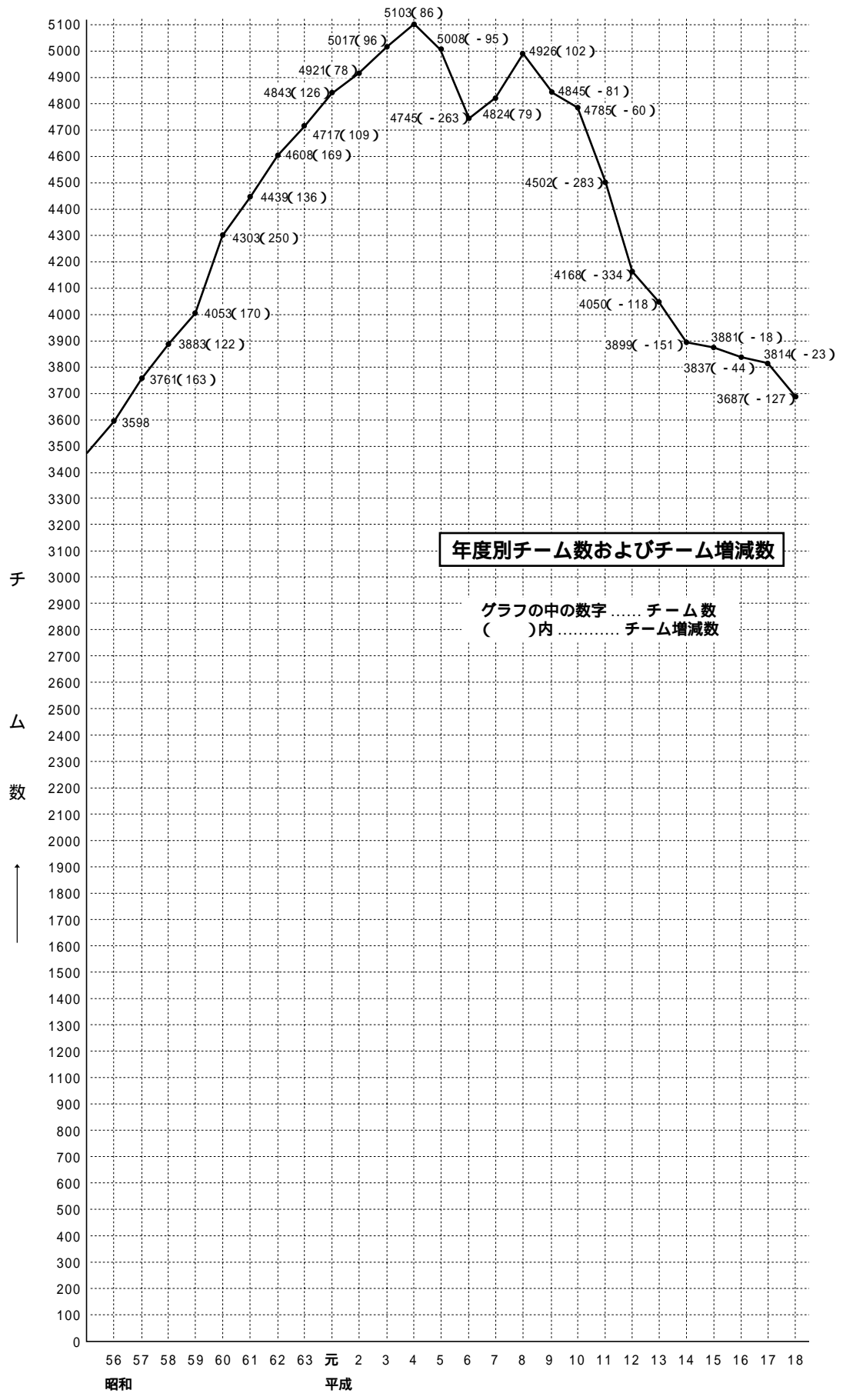
計3,687チーム(R Sを含む)

(前年度3,814チーム、前年度より127チーム減)

地域 チーム数 区分	関 東		関 西		九 州		合 計	
	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減
中 学	102	+ 7	177	- 2	45	- 7	324	- 2
高 校	544	- 10	484	- 7	180	0	1,208	- 17
高 専	12	+ 1	24	- 1	8	0	44	0
大 学	170	- 13	150	+ 1	41	+ 2	361	- 10
社 会 人	183	- 2	100	- 8	51	- 9	334	- 19
ク ラ ブ	498	- 38	403	- 38	116	+ 2	1,017	- 74
小 計	1,509	- 55	1,338	- 55	441	- 12	3,288	- 122
ラグビー ス ク ビ ル	166	- 4	165	- 3	68	+ 2	399	- 5
合 計	1,675	- 59	1,503	- 58	509	- 10	3,687	- 127

2. 競技者・登録数

地域 登録数 区分	関 東		関 西		九 州		合 計	
	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減
中 学	3,016	+ 260	4,780	+ 195	988	- 135	8,784	+ 320
高 校	14,731	- 240	12,951	- 377	5,605	- 38	33,287	- 655
高 専	333	+ 9	679	- 51	241	- 25	1,253	- 67
大 学	6,448	- 165	5,097	- 8	1,233	+ 74	12,778	- 99
社 会 人	5,224	+ 79	3,376	- 99	1,744	- 79	10,344	- 99
ク ラ ブ	15,104	- 641	11,382	- 591	4,192	+ 16	30,678	- 1,216
小 計	44,856	- 698	38,265	- 931	14,003	- 187	97,124	- 1,816
ラグビー ス ク ビ ル	12,294	+ 129	11,302	+ 346	4,284	+ 207	27,880	+ 682
合 計	57,150	- 569	49,567	- 585	18,287	+ 20	125,004	- 1,134



平成 18 年度事業報告

日本協会のビジョンである「ラグビー競技を誰からも愛され、親しまれ、楽しめる人気の高いスポーツにする」ことの実現を目指して、各関係方面のご協力と連携強化を図り大会の開催および各事業を実施した。

< 国内大会関係 >

下記大会試合を実施した

1. 第48回 Y C & A C セブンズ
4月9日(横浜 Y C & A C)
優勝: 三菱重工相模原
2. 第7回全国高等学校選抜大会
4月3日~9日(熊谷ラグビー場)
優勝: 東海大付属仰星高校(初優勝)
3. ジャパンセブンズ高校の部
4月15日(東京 江戸川競技場)
優勝: カップ 近畿選抜
プレート 九州選抜
ボウル 四国選抜
4. 合同チーム全国大会
7月21日~24日(北海道夕張市平和運動公園)
U-17の部・優勝
: カップ ・九州選抜
: プレート・東北選抜 ・ボウル・東海選抜
U-18の部・優勝
: カップ ・近畿選抜
: プレート・北信越 ・ボウル・北海道
5. ジャパン・ラグビー・トップリーグ
リ・グ戦 9月1日~平成19年1月14日
開催地: 北海道・岩手・新潟・長野・群馬・埼玉
東京・神奈川・山梨・千葉・静岡・京都・
岐阜・愛知・大阪・兵庫・愛媛・福岡・
大分・熊本・長崎 計21会場で開催
順位: 1位 東芝 : 勝点 60
2位 サントリー : 勝点 56
3位 ヤマハ発動機 : 勝点 48
4位 トヨタ自動車 : 勝点 47
上位4チームがプレーオフに出場
プレーオフ戦
準決勝 平成19年1月28日(秩父宮・花園)
東芝 38 - 33 トヨタ自動車
ヤマハ発動機 39対40 サントリー
決 勝 平成19年2月4日(秩父宮)
東芝 14 - 13 サントリー
東芝 3連覇達成
6. ジャパントップリーグ入替戦および自動降格
平成19年2月12日(秩父宮ラグビー場)
日本IBM(12位)(29-29)近鉄(トップイースト1位)
リコー(11位)(43-24)ホンダ(トップイースト2位)
日本IBM・リコーが残留
トップリーグ順位、13位(セコム)・14位(ワールド)は自動降格
7. 第61回 国民体育大会
10月5日~9日
兵庫: 姫路市(成年)・太子町(少年)
優勝: 成年男子・兵庫県(初優勝)
: 少年男子・大阪府(2連覇)
8. 第19回女子ラグビー交流大会
11月23日(江戸川競技場)
全国から集まった女子チームの対戦とスクール所属の小学女子による年代別交流戦および中学女子の紅白戦を実施した。
9. 第5回東西学生クラブ対抗試合
12月17日(花園ラグビー場)
慶応義塾BYB(35 - 34)立命館グラスルーツ
10. 第43回全国大学選手権大会
12月17日~平成19年1月7日
場 所: 関東・関西・九州
準決勝 平成19年1月2日(国立競技場)
早稲田大(55 - 12)京都産業大
関東学院大(34 - 3)大阪体育大
決勝 平成19年1月13日(国立競技場)
早稲田大(26 - 33)関東学院大
関東学院大、3年ぶり6回目の優勝
11. 第86回全国高等学校大会
12月27日~平成19年1月7日
場所: 花園ラグビー場
準決勝 平成19年1月5日
大工大高校(10 - 53)東福岡高
桐蔭学園(13 - 40)東海大仰星高
決勝 平成19年1月7日
東福岡高(5 - 19)東海大仰星高
東海大仰星高が7大会ぶり2度目の優勝
12. 第14回全国クラブ大会
1~2回戦 平成19年1月6日~8日
場所: 横浜みなとみらい・関東学院大グランド
決勝 平成19年1月21日(秩父宮ラグビー場)
タマリバ(69 - 7)北海道バーバリアンズ
タマリバが4年連続5度目の優勝
13. 第57回全国地区対抗大学大会
平成19年1月2・4・6日
場所: 瑞穂ラグビー場
準決勝 平成19年1月4日
大阪学院大(12 - 41)武蔵工業大
中京大(62 - 59)北海道大
決勝 平成19年1月6日
中京大(48 - 18)武蔵大
中京大が32年ぶり2回目の優勝
14. 第37回全国高等専門学校大会
平成19年1月4日~8日
場所: 兵庫 神戸ユニバー記念競技場
準決勝 平成19年1月7日
神戸市立高専(33 - 10)函館高専
宮城高専(0 - 40)富山高専

- 決勝 平成19年1月9日
宮城高専(52-4)神戸市立高専
宮城高専は4年ぶり9回目の優勝
15. 第12回全国ジュニア・ラグビー - 大会
12月29日・31日(花園ラグビー場)
第一ブロック決勝
大阪府中学選抜(15-12)九州スクール選抜
第二ブロック決勝
近畿中学選抜(24-22)大阪府スクール選抜
 16. 第30回全国高等学校東西対抗試合
平成19年1月13日(国立競技場)
東軍(45-24)西軍
東軍3年ぶりの勝利
 17. 第61回東西学生対抗試合(大学オールスター)
平成19年1月21日(秩父宮ラグビー場)
東軍(72-5)西軍
通算対戦成績 東軍51勝10敗
 18. 第44回日本選手権大会
平成19年2月3日・11日・18日・25日
場所:秩父宮ラグビー場・花園ラグビー場
平成19年2月18日
準決勝 東芝(47-10)ヤマハ発動機(秩父宮)
トヨタ自動車(39-17)サントリー(花園)
平成19年2月25日
決勝(秩父宮)
東芝(19-10)トヨタ自動車
東芝は2年連続6度目の優勝
 19. 三地域対抗試合(三地域協会代表)
平成19年2月18日(花園ラグビー場)
関西代表(28-24)九州代表
平成19年2月25日(熊本 水前寺)
九州代表(19-42)関東代表
平成19年3月4日(秩父宮ラグビー場)
関東代表(35-26)関西代表
 20. 第57回朝日招待ラグビー
平成19年3月11日(博多の森球技場)
九州代表(27-35)関東学院大
九州代表は24勝30敗2分 1中止
 21. 第3回全国小学生タグ・ラグビー選手権大会
平成19年 2月24日・25日(秩父宮ラグビー場)
優勝:カップ:横浜釜利谷スパークエイト
優勝:プレート:矢巾R・F
優勝:ボウル:佐世保市立春日小学校(スマイルズ)

<国際大会・海外遠征関係>

下記の国際大会・海外遠征を実施した

<高校大会・高校日本代表>

1. ワールド・ラグビユース - 交流大会
4月29日~5月5日(福岡 宗像市)
優勝:クライストチャーチハイスクール(NZ)
準優勝:モニュメントハイスクール(南ア)
3位:東海大仰星高校

2. 日本高校代表・豪州遠征
7月24日~8月4日
第1戦 7月27日(タウンズビル)
日本高校代表(56-17)北クイーンズランド高校代表
第2戦 7月30日(ゴスフォード)
日本高校代表(53-10)NSWカントリー高校代表
第3戦 8月3日(シドニー)
日本高校代表(27-48)NSW公立高校代表
 3. 第14回日・韓・中ジュニア交流競技会
8月22日~29日(韓国 大邱広域市)
日本「東海大仰星高」(17-40)大邱
日本「東海大仰星高」(17-24)韓国
日本「東海大仰星高」(48-24)中国
 4. 日英学生対抗戦2006(オックスフォード大来日)
第1戦 9月9日(西京極競技場)
同志社大(28-34)オックスフォード大
第2戦 9月13日(ナイター 江戸川競技場)
関東学院大(17-7)オックスフォード大
第3戦 9月17日(秩父宮ラグビー場)
早稲田大(22-20)オックスフォード大
- <日本代表女子>
5. 香港ワールドセブンズ 女子(12チーム)
19年3月29日
日本女子代表(0-25)中国
日本女子代表(7-12)シンガポール
19年3月30日
日本女子代表(5-12)香港
日本女子代表(31-0)パプアニューギニア
 6. アジア セブンズ 女子
5月12日~14日(ウズベキスタン)
日本女子代表は5位
 7. 豪州強化遠征 8月19日~22日(ブリスベン)
現地コーチによる練習および現地チームとの試合
第1戦 日本女子(25-0)Gold Coast College Club
第2戦 日本女子(29-7)OLD Development
- <セブンズ日本代表>
8. IRBセブンズ・香港大会(24チーム)
3月31日~4月2日
予選プール結果によりプレートトーナメントに進出
7日本代表(12-22)カナダ代表
準々決勝で敗退
 9. IRBセブンズ・シンガポール大会(16チーム)
4月8日・9日
予選プール 1勝2敗 ボウルトーナメントへ
ボウルトーナメント
決勝 7日本代表(0-14)ケニア代表
 10. IRBセブンズ・スペイン大会
5月22日~29日
予選プールの結果、カップトーナメント出場
1試合目(5月28日)
7日本代表(31-0)ニューカレドニア代表

- 2試合目
7 日本代表 (12 - 5) ジンバブエ代表
- 3試合目
7 日本代表 (12 - 33) スーパーステークス
7 日本代表準優勝
11. シンガポールクリケットクラブセブンズ
11月4日・5日
カップトーナメント1回戦で破れ、プレートトーナメントに進出したが、準決勝で敗退
7 日本代表 (12 - 28) オーストラリア
12. アジア競技大会
12月10日・11日 (カタール・ドーハ)
予選プール
1戦目 7 日本代表 (58 - 0) カタール代表
2戦目 7 日本代表 (24 - 7) 中華台北代表
準決勝 7 日本代表 (22 - 7) 中華台北代表
決勝 7 日本代表 (27 - 26) 韓国代表
金メダル獲得
- < U19 日本代表 >
13. U19 世界選手権
4月4日～4月21日 (24チーム・ドバイ)
第1戦 U19 日本代表 (30 - 17) ルーマニア代表
第2戦 U19 日本代表 (10 - 90) NZ 代表
第3戦 U19 日本代表 (0 - 48) スコットランド代表
第4戦 U19 日本代表 (0 - 26) サモア代表
第5戦 U19 日本代表 (13 - 13) ルーマニア代表
(日本 PG 4 - 1 で勝利)
この結果、11位となり、Aグループ残留
14. U19 アジア大会
12月18日～22日 (中華台北)
1回戦 U19 日本代表 (58 - 6) シンガポール代表
2回戦 U19 日本代表 (74 - 3) マレーシア代表
決勝 U19 日本代表 (64 - 3) 中華台北代表
U19 日本代表は、2年連続6度目の優勝
- < U23 日本代表 >
15. 4月15日～30日 NZ 遠征 4 試合
第1戦 U23 日本代表 (44 - 7) マッセイ大学
第2戦 U23 日本代表 (42 - 5) ワイララバ・ブッシュ
第3戦 U23 日本代表 (116 - 0) ヴィクトリア大学
第4戦 U23 日本代表 (5 - 34) NZ 学生代表
- < 日本代表 >
16. 日本代表強化合宿 (フランス・ダックス)
3月30日～4月13日
強化試合
4月1日 日本 (36 - 13) ダックス選抜
4月4日 日本 (17 - 35) ユニャック選抜
4月5日 日本 (25 - 15) バスク選抜
4月9日 日本 (20 - 12) チュニジア代表
17. RWC 2007 アジア地区一次予選
4月16日 (秩父宮ラグビー場)
日本代表 (82 - 9) アラビアンガルフ代表

18. 第 8 回日韓定期戦 4月23日 (秩父宮ラグビー場)
日本代表 (50 - 14) 韓国代表
19. グルジア代表来日
5月10日 (西京極競技場)
日本 A 代表 (15 - 14) グルジア代表
5月14日 (花園ラグビー場)
日本代表 (32 - 7) グルジア代表
20. IRB パシフィック・ファイブネーションズ
6月 4日 日本代表 (16 - 57) トンガ代表 (本城陸上)
6月17日 日本代表 (9 - 53) サモア代表 (NZ)
6月24日 日本代表 (8 - 38) NZ ジュニア (NZ)
7月 1日 日本代表 (15 - 29) フィジー代表 (長居)
21. イタリア代表来日 6月11日 (秩父宮ラグビー場)
日本代表 (6 - 52) イタリア代表
22. 日本協会創立80周年記念試合兼 RWC アジア最終予選壮行試合 (秩父宮ラグビー場)
11月4日 日本代表 (19 - 61) 豪州首相 XV
23. 日本代表強化試合
11月10日 ナイター (国立競技場)
日本代表 (22 - 29) レッズ (スーパー14 参加チーム)
24. RWC 2007 アジア地区最終予選 (香港)
11月18日 日本代表 (52 - 3) 香港代表
11月25日 日本代表 (54 - 0) 韓国代表
日本代表 2007 W 杯出場権獲得

・ (財) 日本体育協会関係

日本体育協会の事業計画は次の通りであり、当協会
はこれに協力した。

- ・ 国民スポーツの普及・振興に関する事業
- 1. 国民スポーツ振興の推進と体制強化
- 2. スポーツ指導者養成事業の推進
- 3. スポーツ少年団の充実
- 4. 生涯スポーツの推進
- 5. 国際交流事業等の実施
- 6. 国民体育大会の開催とブロック大会へ助成等
- 7. スポーツ医・科学研究の推進
- 8. スポーツコーチサミットの開催
- 9. 広報活動の充実
- 10. スポーツ情報システムの充実
- 11. 個人情報保護
- 12. 子どもの体力向上推進事業
- 13. 地域子ども教室推進事業
- 14. スポーツ顕彰事業
- 15. 関連事業の推進
 - ・ 財政の確立
 - ・ その他
 - ・ 第61回兵庫国体への参加
 - ・ 評議員会への出席
 - ・ 国体運営専門部会への出席
 - ・ 事務局長会議への出席

・(財)日本オリンピック委員会関係

1. JOCの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。

スポーツ選手を育成・強化する事業

<各種競技大会への選手団派遣事業>

- ・第15回アジア競技大会 ラグビー7人制金メダル獲得
12月1日～12月15日・カタール・ドバイ
- ・第6回アジア冬季競技大会
平成19年1月28日～2月4日・中国・永春
- ・第23回ユニバーシアード冬季競技大会
平成19年1月17日～1月27日・トリノ

<選手強化事業>

- ・強化合宿事業
- ・コーチ強化事業
- ・ジュニア対策事業
- ・将来性を有する選手の発掘及び育成事業
- ・スポーツ国際交流事業
- ・調査研究事業
- ・アンチドーピング活動推進事業
- ・スポーツ指導者海外研修事業
- ・組織基盤強化事業

<ナショナルトレーニングセンターの設置>

<JOCゴールドプランの推進>

オリンピックムーブメントを推進する事業

- ・アンチドーピング活動推進事業
- ・オリンピックムーブメントを推進する事業

その他本会の目的達成に必要な事業

2. 次の事業に助成を申請した。
 - ・日本代表強化合宿
3. 評議員会・総務委員会への出席

・(独)日本スポーツ振興センター関係

日本スポーツ振興センターの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。

業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

経費の抑制

組織及び定員配置の見直し

業務運営の点検・評価の実施

国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するためのとるべき措置

スポーツ施設の運営・提供に関する事項

大規模スポーツ施設における稼働日数の確保

・陸上競技場

良質なスポーツターフ等施設条件を維持するために必要な養成期間等を考慮しつつ、国際的・全国的なスポーツ大会等の開催やアマチャアスポーツ等の利用促進より、年間115日以上稼働日数の確保

・ラグビー場

ラグビー専用競技場として良質なスポーツ

ターフ等施設条件を維持するために必要な養成期間等を考慮しつつ、国際的・全国的スポーツ大会等の開催により、年間75日以上の稼働日数を確保する。

- ・スポーツ施設利用者の利便性の向上
- ・スポーツ施設の活用の促進

国際競技力向上のための研究・支援事業

スポーツ振興のための助成に関する事項

災害共済給付事業に関する事項

スポーツ及び児童生徒等の健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供に関する事項

一般勘定の積立金の使途

次の事業に助成を申請した。

- ・トップリーグ活性化事業
- ・高校代表海外遠征事業
- その他必要事項

各委員会関係

1. 管理委員会

1. 法務部門

1. 業務委託、スポンサー契約の典型例の雛形化
2. 協会の判断・決定に関する紛争の法廷闘争化防止のためのスポーツ仲裁機構の有効活用方法の検討要請を行った
3. 肖像権関連規定の見直しを行った
4. その他必要事項

2. 財務部門

7回の財務部門委員会開催を通じて、H18年度の予算執行状況を点検するとともに、H17年度決算の分析を通じて協会財務の構造的把握につとめ、H19年度予算編成に向けた提言を行なった。主要な活動は、次のとおり

1. H17年度までの協会財務状況の変化の分析
H17年度決算データを過去数年のデータと比較し、収支構造の変化と問題点の把握を行なった。
2. 予算作成プロセス改善への取り組み
予算編成プロセスを従来の積上げ方式から、協会方針に基づくガイドライン方式への切り替えを図るため、各委員会のH18予算の執行状況やH19年度の事業計画構想・課題事項のヒヤリングを前倒して実施し、H19年度の実行予算策定着手前に、予算ガイドラインを設定するよう提案を行なった。
3. トップリーグの運営改善の推進に当って、財務面から影響を検討すると共に、運営についてのアドバイスを行なった。
4. 公益法人法制の変化に対応するために、新たな公益法人制度の内容の把握に努めるとともに、協会の一本化に向けた議論に参画し、財務面からの推進事項の検討に着手した。

2. マーケティング委員会

次の事業を実施した。

1. スポンサー獲得と協賛メリット拡大の為の積極的なマーケティング活動
 - ・平成18年度より、マーケティング活動の収益最大化と協会の資金繰りの安定化を図る為、日本協会の所有するプロパティを活用したマーケティング活動の独占的業務委託契約を大手広告代理店と締結。
 - ・年間横幕協賛社獲得のための活動（年間協賛社17社 / 他大会協賛社複数あり）
 - ・企業別マーケティング計画の作成と活動展開
 - ・新規スポンサー獲得活動
 - ・計画的なフォロー体制の実施
 - ・マイクロソフト株式会社と普及委員会の協力を得て、マイクロソフトカップと共に小学生のミニラグビーの底辺拡大を図る普及活動への協力。
 - ・全国小学生タグラグビーフットボール選手権へのサントリー株式会社の特別協賛に伴い、普及委員会と連携して、タグラグビーの普及と発展への協力。
2. 各テレビ局や新聞社等への後援及び協賛依頼活動の実施
3. 共催・協賛社との積極的な協力による活動
 - ・日本代表戦事業における新聞社との共同活動
 - ・全国大会（大学・日本選手権）における共催・後援社との共同活動
4. 各メディアに対する放送権の販売及び管理
 - ・日本代表戦及び国内大会におけるテレビ放映権の権利調整
 - ・トップリーグ地方放送局との放送促進と契約
5. 日本代表マーチャндаイジングライセンスの管理
6. 日本協会所有の肖像権の管理
7. JAPAN RUGBY HUMAN PROMOTION PROGRAMの企画と協賛アプローチ
8. その他必要事項

3. 広報委員会

事業目的達成のため、以下の基本方針に沿って事業を実施した。

<事業方針>

- ・ラグビー関係者、選手、ファンなどラグビーに関わる全ての人々と円滑な関係を構築し、ラグビーの普及振興とその健全な発達を図る。

<事業活動全般>

1. トップリーグ、全国大学選手権、マイクロソフトカップ、日本選手権などの協会が主催する大会を通じた活動の推進をした。
2. 強化委員会との連携により各世代（女子ラグビーを含む各カテゴリー）の日本代表を軸にした活動の推進した。

3. 強化委員会との連携を密にした活動の推進をした。
4. 費用対効果の再検討と新しい活動の推進をした。
以下 実施項目及び具体的な実施事項の詳細は、次のとおりである。

<実施項目>

1. メディアリレーションズ：パブリシティ業務全般
 - ・記者発表の企画・運営を行った。
 - ・報道用資料の作成・リリースを行った。
 - ・個別インタビューのアレンジを行った。
2. カスタマーリレーションズ：顧客向け業務全般
 - ・ファン拡大、観客増に向けた取り組みを行った。
 - ・コミュニケーションツール制作した。
 - ・NHKとの共催によるイベント運営した。
3. コミュニティリレーションズ：地域交流業務全般
 - ・地域・公的機関への協力をした。
 - ・自治体活動への協力を支援した。
4. サイバーリレーションズ：ITベースのPR業務
 - ・ホームページ運営管理・メンテナンスを行った。
 - ・現状の再検証と新しい展開の検討と実施し、アクセス数の増加に伴う、サーバーの容量と、対応策に課題を残した。
 - ・デジタルコンテンツを開発した。
5. インナーリレーションズ：関係者業務全般
 - ・各委員会と連携した。
 - ・地域協会など諸団体とのリレーション活動を行った。
 - ・機関誌を年5回発行した。
 - ・HP活用の推進を図った。
6. リスクマネジメント：危機管理業務全般
 - ・危機管理予防策を講じ初期対応を行うと同時に今後の対応策を練り、マスコミ対応を行った。
 - ・マニュアルを利用し、各カテゴリーごとのチーム集合時に、講習会を開催し、周知徹底を図った。
 - ・勉強会など研修を実施した。
 - ・連絡体制作りを行った。
 - ・競技力向上委員会 / メディカルコミッティーと連動し、HPでの告知などを徹底した。

<具体的な実施事項>

1. 機関誌
 - ・誌面の充実により、購読者数の増加を図った。
2. イベント
 - ・NHKとの連携により、イベントを開催した。
3. ホームページ
 - ・リアルタイムな情報提供をした。
 - ・情報量を増加させた。
 - ・個人情報管理を含めた危機管理を徹底した。
4. 記録管理
 - ・インターネットによる業務の充実化を推進した。
 - ・試合記録情報をデジタル化してデータベース化に努めた。
 - ・地域協会との連携を図った。
 - ・紙データのデジタルベース化の推進に努めた。

5. 文化伝承活動
 - ・ 散逸または整理のできていない資料の整理を部分的に行った。
6. メディア対応
 - ・ 適宜に記者会見を実施した。
 - ・ プレスリリースをタイミングよく多く配信した。
 - ・ 報道用スペース、機器などの充実を図るよう働きかけを行ったが、更なる充実の検討を要する。
 - ・ ミックスゾーンの充実など取材導線に配慮した形を検討実施した。
7. 各種出版
 - ・ 日本代表に関するカードを作成しファンへのサービスと新規ファンの拡大を図った。
 - ・ ラグビー関連の出版物整理を行う準備を行った。
8. 強化広報
 - ・ 代表チーム等に関し、密な関係を作り、ニュースの価値を高め、積極的な広報活動を図り、メディアへの露出を高めるよう努めた。
9. プログラム
 - ・ 作成は、事業委員会と連動し販売に協力した。

4. 国際委員会

< 重点項目 >

国際関連情報収集活動の強化

< 一般項目 >

1. IRB関連業務
 - ・ IRB議事録管理
 - ・ IRB通達およびリリース翻訳および管理
 - ・ IRBの各種規定の整理
 - ・ IRBおよびIRB理事国との諸連絡
2. アジア理事会関連
 - ・ アジアラグビー協会議事録管理
 - ・ アジア協会および理事国との諸連絡
 - ・ AIRプロジェクト補助活動
3. 国際試合関連業務
 - ・ 国際試合のスケジュールリング管理
 - ・ 国際試合および海外チーム受け入れ業務
 - ・ リエゾンオフィサーの育成および運営
4. 国際関連一般
 - ・ 海外協会との諸連絡
 - ・ 海外VIP来日対応
 - ・ 「IRB定款」、「IRB規約」、「競技規則」の翻訳
 - ・ 英文ホームページ、英文プレスリリース関連
 - ・ クリアランスおよび海外遠征許可関連
5. RWC2015招致のための情報収集活動
6. アジアでのリーダーシップを取るための各種活動
7. 「スーパー14」加入のための情報収集活動
8. その他の主要活動
 - ・ ジュディシアルオフィサーセミナーへの受講者派遣（平成18年4月・フィジー）
 - ・ アジア協会での「規約改正ワーキンググループ会議」

主催（平成18年7月・バンコク）

- ・ 韓国協会新会長らとのアジア戦略会議（平成18年2月・東京）
- ・ イングランド協会、スコットランド協会訪問（RWC2015招致活動）（平成18年3月）

5. 事業委員会

1. 主催試合及び大会の事業・企画・運営に関する事項
 1. 観客動員のためのチケットセールスおよび諸施策の展開
 - ・ 年間チケット販売予定の早期決定と、ホームページを活用した積極的な広報活動を実施
 - ・ 秩父宮、花園年間シートの販売（秩父宮及び花園）
 2. 共催・協賛者との積極的な協力による活動
 - ・ 日本代表戦事業における新聞社との共同活動
 - ・ IRBパシフィック・ファイブ・ネーションズ 東芝ジャパンラウンドに於いては、北九州市を中心とした自治体との連動。
 - ・ 80周年記念試合「リポビタンDチャレンジ2006 日本代表対オーストラリア首相選抜」時はBS朝日の生中継を実施。（集客・広報・告知等含む）
 - ・ 80周年記念試合でのオーストラリア大使館及び政府観光局等との連動による大会実施。
 - ・ 全国大会（大学・日本選手権）における共催・後援社との共同活動
 3. 各メディアに対する放送権の販売促進
 - ・ トップリーグ地方放送局との放送促進と契約
 4. 試合運営を円滑に進めるための諸施策の実施
 - ・ 日本協会主催大会での運営方法のマニュアル化
 - ・ トップリーグ運営での地方開催地との連携
 5. 大会・試合ごとに収支を明確にして、改善のための諸案を実施
 - ・ 事業予算の厳密な管理
 - ・ 支出抑制のための稟議書精査の徹底
 - ・ 収入見込み、収入報告の迅速化と管理
 6. 協会ネットワークの構築
 - ・ 協会ホームページ（オフィシャル、トップリーグ、メンバーズクラブ）の活用
 7. メンバーズ会員の獲得とフォロー及び新規企画の実施
 8. グッズ商品の検討、拡販
 - ・ 日本代表グッズの企画・制作・販売の実施
 - ・ インターネット通信販売による協会関係企業商品の委託販売の実施
 9. サントリー株式会社の特別協賛を得て、普及委員会と連携して「サントリーカップ 全国小学生ラグビーフットボール選手権大会」を実施
 10. 企画プロジェクトを構築
 - ファン獲得とラグビーのグッドウィルを得る為に、フリーペーパー「ラグビーファンマガジン0号」を10万部発行。ラグビーファンから大きな反響を得る。

11. その他必要事項

2. トップリーグ事業・企画・運営に関する事項

リーグの目指す、あるべき姿の達成に向けて施策の展開

1. 日程・開催地の調整・決定・答申
・開催地調整と会場確保
2. 観客動員拡大のための諸政策の検討・実施
・有効な集客可能な地域の事前ヒアリングの実施
・参加チームの観客動員可能開催地の事前ヒアリングの実施
3. 主管地域協会・開催地協会との連携強化による各目標値の確保（観客動員・普及育成・強化等）
・開催地協会 全体会議の実施による、試合運営・普及育成・観客動員に向けた諸施策の指導と共有
・観客動員を目標にした告知活動・普及育成イベントの実施における予算確保と計画的実行
4. 規約・大会要項等の見直し
・リーグ規約、規程の見直しを実施
・大会形式の見直し
5. 参加チームとの定期連絡会議の開催・レフリー・コーチ・運営等々に関する事項
・参加チーム月例会議の実施
・レフリー委員会 トップリーグ専門グループの計画的な活動実施
・医科学委員会 トップリーグ専門グループの計画的な活動実施
・普及育成委員会 トップリーグ試合会場 普及イベントの実施
・将来検討期間トップリーグパネルの諸施策提案
・マイクロソフト株式会社と普及委員会の協力を得て、マイクロソフトカップと共に小学生のミニラグビーイベントの実施。
6. その他必要事項

3. 国体部門

次の事業を実施した。

1. 平成18年度開催予定の兵庫県ラグビー協会および姫路市と太子町との打ち合わせ
2. 平成19年度以降開催が予定されている各県ラグビー協会との打ち合わせ
平成19年度秋田県、平成20年度大分県
平成24年度岐阜県
3. 国体部門会の開催
4. 競技会場の視察：
・大分県（平成20年度開催予定）
期 日：平成18年4月17日（月）～19日（水）
会 場：大分県竹田市、湯布院町
・秋田県（平成19年度開催予定）
期 日：平成18年6月17日（土）・18日（日）
会 場：秋田県秋田市、男鹿市

・岐阜県（平成24年度開催予定）

期 日：平成18年7月18日（火）・19日（水）
会 場：岐阜県関市、飛騨市

5. 第61回国体（兵庫県）組み合わせ抽選会

期 日：平成18年9月10日（日）12時～
会 場：（財）日本ラグビー協会 会議室

6. 第61回国体（兵庫県）への参加

期 日：平成18年10月4日～9日
会 場：成年男子

姫路市立球技スポーツセンター球技場
少年男子

太子町総合公園陸上競技場

優 勝：成年男子 兵庫県

少年男子 大阪府

4. 社会人部門

次の事業を実施した。

1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるための諸施策を実施した。
2. 三地域協会と協力して試合運営を円滑に進めるための打ち合わせの実施。
3. 各種国際試合へ観戦のための動員依頼を行った。
4. 国体・成年の部参加ため各チームへの参加依頼を行った。
5. 関東社会人連盟との連携で1～4部チームへ活動支援を行った。
6. YCACセブンス大会運営支援を行った。
三菱重工相模原が優勝を飾った。

5. 大学部門

次の事業を実施した。

1. 学生東西対抗試合(学生オールスター戦)の開催に協力
2. 全国地区対抗大学大会の開催
18年度は中京大学が優勝を飾った。
3. 大学ラグビーの普及・発展のために会議を開催した。
4. 観客動員のため、各大学へ動員依頼を行った。

6. 普及育成委員会

1. 普及育成関係

1. プロモーション事業

<はじめてのラグビーボール>

【関東協会】

・東京都「初めてのラグビー教室 タグフェスタ
I N 町田」

10月15日 都立小川高校

・東京都「初めてのラグビー教室 タグフェスタ
I N 多摩」

3月18日 一之宮公園球技場

【九州協会】

・長崎県「第8回佐世保ラグビーフェスティバル
タグフェスタ I N 佐世保」

- 6月18日 佐世保市総合グラウンド陸上競技場
- ・鹿児島県「初めてのラグビーボールIN鹿児島」
- 9月11日 鹿児島ふれあいスポーツランド
- ・宮崎県「第5回 タグフェスタin宮崎」
- 8月5日 宮崎県総合運動公園
- ・佐賀県「タグフェスタ in 鳥栖」
- 10月8日 鳥栖市陸上競技場
- ・熊本県「Yesスポーツ2006ANACUP」
- 10月9日 熊本県総合運動公園KKウイング
- ・福岡県「タグフェスタ in ぶくおか」
- 10月22日 海の中道 海浜公園内芝生広場グラウンド
- ・沖縄県「2006年度タグ・フェスタIN沖縄」
- 10月29日 読谷村残波岬公園いこいの広場グラウンド
- ・大分県「平タグフェスタIN大分」
- 11月26日 竹田市総合運動公園陸上競技場
- ・沖縄県「沖縄女子タグラグビーフェスタ」
- 11月26日 県総合運動公園ラグビー場
- ・鹿児島県「第1回九州女子タグラグビー大会」
- 11月13日 鹿児島国際大学フィールドハウス

以上、2地域にて12会場の開催。

参加者2,960名 指導員421名 合計3,381名が参加

2. 学校体育関連事業

- 47都道府県協会 普及育成委員会タグ担当委員会への「タグ・ラグビー用具」の配布完備
- 三地域協会 普及育成委員会タグ委員会への貸出用ラグビー用具」の配備完了
- 各種イベントでの参加者への「参加賞」(ランドリーバック)製作と配布

3. 中学生関係

<会議、研修会>

- ・熊本県「九州ジュニアインストラクター会議」
- 10月7～9日 熊本県民総合運動公園ラグビー場
- 以上、1地域にて1会場の開催。
- 参加者6名 合計6名が参加。

<大会関係>

【関東協会】

- ・長野県「第8回ジュニアラグビー菅平ジャンボリー」
- 7月29日～30日 菅平サニアパーク(5面)、真田町町営グラウンド(2面)
- ・岩手県「第27回東北中学生ジュニア・ラグビー交流大会」
- 8月12～13日 八幡平市松雄上寄木グラウンド
- ・茨城県「東日本中学生チャンピオンズマッチプレ大会」
- 8月26～27日 水戸市立サッカー・ラグビー場ツインフィールドA、B、水戸市立競技場
- ・東京都他「第26回東日本中学生ジュニアラグビー大会」
- 12月24～26日 秩父宮ラグビー場他
- ・茨城県「第4回東日本U15ジュニアラグビー選抜大会」

3月17～18日(予定) 水戸市サッカーラグビー場

【関西協会】

- ・岐阜県「第8回関西中学生ラグビージャンボリー大会」
- 7月28～30日 岐阜県 数河高原平成グラウンド
- ・山口県「中四国ジュニアラグビー交流・研修会」
- 関西協会
- 8月19～20日 山口県長門市 依山多目的交流広場
- ・兵庫県「第8回近畿スクール ジュニア・ラグビー交流大会」
- 11月18～19日 神戸製鋼所灘浜スポーツゾーン
- ・大阪府「第12回全国ジュニア・ラグビー大会」
- 日本協会
- 12月29日・31日 近鉄花園ラグビー場
- ・奈良県「平成18年度近畿ジュニアラグビー新人大会」
- 3月4日 奈良県 天理高校グラウンド

【九州協会】

- ・熊本県「第7回ジュニアラグビー九州ブロック大会」
- 10月7日～9日 熊本県民総合運動公園ラグビー場
- ・九州協会「第8回九州ジュニアラグビー福岡・大分佐伯ジャンボリー大会」
- 1月27日～28日 福岡グローバルアリーナ
- 3月3日～4日 大分佐伯市総合運動公園
- 以上、3地域にて12会場の開催
- 参加者7,678名 指導員673名 合計8,351名が参加

4. 小学生関係

<会議、研修>

【関東協会】

- ・岩手県「東北地区ミニラグビー指導者研修会」
- 10月21～22日 岩手県 盛岡大学ラグビー場
- ・埼玉県「関東地区ミニラグビー指導者研修会」
- 2月3～4日 リコー東松山研修センター

【関西協会】

- ・高知県「四国ラグビースクール協議会夏季研修会」
- 8月5～6日 高知県土佐町 おこぜハウス
- ・奈良県「関西協会小学生委員会・ブロック研修会委員会」
- 3月17～18日 奈良県天理市 天理教本部詰所
- ・奈良県「西協会ミニ・ラグビーインストラクター研修会」
- 3月18～19日 奈良県天理市 天理教本部詰所
- 近鉄花園ラグビー場

【九州協会】

- ・福岡県「九州ラグビー協会普及育成担当者研修会」
- 5月13～14日 福岡県 博多グリーンホテル
- ・宮崎県「ミニラグビー指導者講習会」
- 7月2日 宮崎県立農業大学校
- ・鹿児島県「ミニラグビー指導者講習会」
- 7月22日 鹿児島県立甲南高校
- ・熊本県「ミニラグビー指導者講習会」
- 8月18～20日 国立阿蘇青少年交流の家

- ・鹿児島県「九州ラグビー協会普及育成委員会」
12月10日 鹿児島市「サンデイズイン鹿児島」
以上、3地域にて10会場の開催。
参加者512名（除スクール生） 指導員132名
合計644名が参加

<大会関係>

【関東協会】

- ・秋田県「第6回東北小学生ラグビーフットボール
交流大会」
10月8～9日 秋田県 大潟村ラグビー場
- ・東京都「第2回関東甲信越ブロック・ミニラグ
ビー交流大会」
11月19日 八王子市「上柚木陸上競技場」
- ・東京都「プレ関東地区ミニラグビー交流大会」
11月3日 江戸川区 江戸川第3グラウンド

【九州協会】

- ・大分県「第6回大分・宮崎ブロック交流大会」
7月21～23日 大分県 久住スポーツ研修センター
- ・熊本県「第33回九州少年ラグビー交歓会」
8月18～20日 国立阿蘇青少年交流の家
- ・佐賀県「第7回西九州ミニラグビー交流大会」
9月24日 佐賀県 鳥栖スタジアム
- ・熊本県「第7回東九州ミニラグビー交流大会」
11月3日 熊本県 八代運動公園陸上競技場
- ・鹿児島県「南九州ミニラグビー大会鹿屋カップ」
12月31日 鹿屋市いこいの森グラウンド

以上、2地域にて8会場の開催。

参加者3,364名 指導員264名 合計3,628名が参加

5. タグ関係

<会議、研修>

【本部】

- ・第3回全国小学生タグラグビー選手権記録映像撮影

【関東協会】

- ・東京都「タグ・ラグビー指導者講習会」
12月23日 八王子市上柚木陸上競技場

【関西協会】

- ・奈良県「関西協会タグ委員会・タグブロック研修
会委員会」
3月17～18日 奈良県天理市 天理教本部詰所
- ・奈良県「関西協会タグ・ラグビーインストラク
ター研修会」
3月17～18日 奈良県天理市 天理教本部詰所

【九州協会】

- ・宮崎県「宮崎県タグ・ラグビー実技指導研修会」
5月14日～15日 福岡朝日ビル地下2階多目的
ホール
- ・宮崎県「宮崎県タグ・ラグビー実技指導研修会」
6月24日 宮崎県総合運動公園
- ・沖縄県「平成18年度タグラグビー指導者講習会」
7月25日 沖縄市陸上競技場
- ・佐賀県「タグ・ラグビー指導者講習会」
7月27日 佐賀県 佐賀市メートプラザ ホール

- ・長崎県「長崎県タグラグビー指導者講習会」
8月4日 長崎県 長与町立長南小学校
 - ・鹿児島県「タグラグビー指導者講習会」
8月11日 鹿児島市立明和小学校
 - ・熊本県「タグラグビー指導者講習会」
8月1日 熊本県 芦北城山スカイドーム
 - ・大分県「タグラグビー実技指導講習会」
9月24日 大分大学教育福祉科学部附属中学校
 - ・九州協会普及育成委員会タグラグビー担当者研
修会」
9月23日 長崎県佐世保市立清水小学校
 - ・長崎県「九州協会普及育成委員会タグラグビー
インストラクター研修会」
9月23日 長崎県佐世保市立清水小学校
- 以上、3地域にて13会場の開催。
参加者432名 指導員102名 合計534名が参加。

<大会>

【関東協会】

- ・山形県「第9回タグ・ラグビー東北大会」
3月23日 山形県新庄市「すばーていあ」
以上、1地域にて1会場の開催。
参加者200名 指導員30名 合計230名が参加

2. 高等学校部門

次の事業を実施した。

1. 諸会議（普及育成委員会高校部門及び高体連関係）
 - 第1回常任委員会・全国委員長会議
4月15日～16日（東京：茅場町パールホテル）
 - ・平成17年度事業報告・決算報告
 - ・平成18年度事業計画・予算案等の審議
 - ・新規事業計画について
 - 第1回普及育成委員会高校部門会議
10月7日（大阪：ホテルクライトン江坂）
 - ・大会関連、強化関連事業報告
 - ・安全対策について
 - ・スクラムルールの改正の検討
 - 第2回常任委員会・全国委員長会議
12月25日～26日（大阪：クライトン新大阪）
 - 第2回普及育成委員会高校部門会議
1月13日（東京：日本協会）
 - ・第3回合同チーム全国大会の検討
 - 全国高体連会議
 - ・総体中央委員会 4月25日
 - ・評議委員会 5月23日
 - ・専門部長・委員長会 11月17日
2. 大会関係
 - 第7回全国高等学校選抜大会
4月3日～4月9日（熊谷ラグビー場）
決勝：東海大付属仰星高（31 - 15）東福岡高
高校セブンス大会
4月15日（江戸川陸上競技場）
 - ・カップ優勝 近畿選抜

- ・プレート優勝 九州選抜
 - ・ボウル優勝 四国選抜
 - ・MVP 黒田選手(近畿・履正社高校)
 - ・15人制チームを編成できない高校の選手を全国の9ブロックで選抜きチームを編成。9チームによる予選リーグ、決勝リーグ戦で行った。
- 第2回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会
- ・7月21日～24日(北海道・夕張市)
 - ・カップ 優勝:U17・九州 U18・近畿
 - ・プレート優勝:U17・東北 U18・北信越
 - ・ボウル 優勝:U17・東海 U18・北海道
- 国民体育大会・少年の部
- ・10月5日～9日(兵庫県姫路市・太子町)
 - ・優勝 大阪(29-19)長崎 準優勝
- 第86回全国高等学校大会
- ・12月27日～平成19年1月7日(花園ラグビー場)
 - ・決勝:東海大付属仰星高(19-5)東福岡高
- 第30回高校東西対抗戦
- ・平成19年1月13日(土)(国立競技場)
 - 東軍(45-24)西軍
- 77回全国高等専門学校大会
- ・平成19年1月4日～9日(神戸総合運動記念競技場)
 - 決勝 宮城高専(24-5)神戸市立工業高専
3. 強化指導
- 高校日本代表選考セレクション合宿
- 5月26日～29日(大体大)
- 高校日本代表強化合宿
- 6月9日～12日(兵庫県・太子町)
- 高校日本代表直前合宿
- 7月22日～24日(大体大)
- ユースサポートプログラム・スクラム合宿
- 2月10日11日(西日本・天理)
- 2月17日18日(東日本・立正大)
- U19候補選手・各都道府県の国体・FWコーチ・レフリーを招集し国際ルールに則ったスクラムの組み方のスタンダード化を図る。
4. U17ブロック講習会
- | | |
|-----------------|---------|
| 北海道ブロック:5/3～5 | 北海道・富良野 |
| 東北ブロック:6/30～7/2 | 岩手・北上 |
| 関東ブロック:6/23～25 | 山梨・石和 |
| 北信越ブロック:6/23～25 | 長野・菅平 |
| 東海ブロック:6/23～25 | 岐阜・長良川 |
| 近畿ブロック:6/9～11 | 奈良・天理 |
| 中国ブロック:3/17～19 | 山口・俵山 |
| 四国ブロック:3/18～19 | 愛媛・久万高原 |
| 九州ブロック:3/18～20 | 大分・湯布院 |
5. 普及指導
- 合同チーム交流大会兼第27回普及指導講習会を9ブロックで実施
- 北海道 5月3日～5日
- その他 平成19年3月下旬
- スキルアップキャンペーン菅平
- 8月6日～8日
- 30チームが参加して、ゲームとトップコーチの指導・講習を実施。
5. 指導者研修会
- ・第31回高校ラグビー指導者研修会
 - 平成19年1月12日～14日
 - 教弘会館ホテルグリーンパーク
6. 海外交流
- U19世界選手権2006
- 4月5日～21日(ドバイ)
- 日本(30-17)ルーマニア
- 日本(10-90)ニュージーランド
- 日本(0-48)スコットランド
- 日本(0-26)サモア
- 日本(13-13)ルーマニア
- PG合戦4-1で日本の勝利
- 最終成績は11位
- サニックス2006ワールド・ラグビークラス交流大会
- 4月29日～5月5日(福岡・宗像市)
- 海外8カ国高校チーム・日本高校チーム8チーム
- 優勝:クライストチャーチボーイズハイスクール(NZ)
- 準優勝:モニュメントハイスクール(南アフリカ)
- 高校日本代表 オーストラリア遠征
- 第1戦 7月27日(タウンズビル)
- 日本(56-17)北クイーンズランド高校代表
- 第2戦 7月30日(ゴスフォード)
- 日本(53-10)NSWカントリー高校代表
- 第3戦 8月3日(シドニー)
- 日本(27-48)NSW公立高校代表
- 第13回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会
- 8月22日～29日(韓国・大邱市)
- 日本(東海大仰星高)(17-40)大邱
- 日本(東海大仰星高)(17-24)韓国
- 日本(東海大仰星高)(48-24)中国
- 第11回U19アジアラグビーフットボール大会
- 12月15日～22日(台湾・高雄)
- 日本(58-6)シンガポール
- 日本(74-3)マレーシア
- 日本(64-3)中華台北
- 2年連続6度目の優勝
7. その他
- 既存事業の継続・拡充
- 競技人口(登録者数)の拡大
- 花園大会の地区予選決勝試合のTV放映を全都道府県で実現を目指す。各都道府県で差がある。
- 拠点づくり事業申請 第2地区拠点づくりの検討
- 普及指導講習会と強化指導の連携
- 強化委員会との連携による個人レベルの向上
- マウスガードの義務化 18年度から全ての高校大会での義務化

スクラムルールの改正 国際ルール通りで実施

3. クラブ部門

次の事業を実施した

1. 日本クラブ委員会アピールの推進
2. 第44回日本選手権大会へクラブ代表を派遣
1回戦：2007年2月3日（土） 秩父宮
関東学院大学 47 - 17 タマリバ（クラブ1位）
3. 第14回全国クラブ大会の主催
1～2回戦：2007年1月6日～8日（横浜）
決勝戦：1月28日（秩父宮）
参加数：8チーム
関東 / タマリバ、北海道バーバリアンズ、高麗クラブ
関西 / 六甲、京都フリース、名古屋クラブ
九州 / 帆柱、ウルトラマン
成績：優 勝：タマリバ、
準優勝：北海道バーバリアンズ
4. クラブカンファランスの実施
5. 第5回東西学生クラブ対抗試合を主催
2月17日（日） 近鉄花園ラグビー場
慶大 B Y B 35 - 34 立命館大グラスルーツ
6. 全国地区対抗大学大会予選（関東1区）へ学生クラブを派遣
11月26日（日） 博報堂 G
慶大 J S K S 5 - 78 武蔵工業大
7. 学生クラブ東西交流フェスティバル2006 in 菅平
9月1日～3日 菅平サニアパーク5面
参加数：32チーム（関東 / 24、関西 / 8）
8. クラブユース交流試合
3月11日 コカコーラウエストジャパン G
福岡ユース 10 - 49 神戸 S I C X
9. 第5回真田洋太郎賞
「高麗クラブ（東京）のフェアプレーとひたむきな努力ならびにチームを支えた家族・OB・学校関係者の支援に対して賞が贈られた。
10. 障害者ラグビーへの支援
・聴覚障害者ラグビーの普及発展
・知的障害者ラグビーの普及発展
11. 女子ラグビー
関西ユース強化選手公募選考会
4月15日（日） 花園ラグビー場練習グラウンド
Women's Rugby 2006 Asian Sevens
O zbekisuton
5月10日（水）～16日（火）
ウズベキスタン Stadium NBU
成績：5位
Japan Women's 10's 1st .
5月28日（日） ワールドラグビー場
総会
6月11日（日） 日本青年館 503会議室
菅平サマーキャンプ、レフリー講習会、強化選手合同合宿

7月15（土）～17（月） 菅平 ホテルやまびこ

ユース強化選手菅平サマーキャンプ

7月22（土）～24（月） 菅平 佐久山荘

7. 競技力向上委員会

1. 技術部門

U23

4月14日 - 30日：NZ遠征

対 U23マッセイ大学戦 44-7

対 U23ワイララバ・ブッシュ戦 42-5

対 U23ヴィクトリア大学戦 116 - 0

対 NZU戦 5-34 ×

3月28日～31日 U21,23セレクション合宿

茨城県流通経済大学

U19

U19世界選手権大会（於：U A E ドバイ）

4月4日から21日

日本2勝、グループA11位

U19スコッド合宿

10月21日～24日 立正大学

11月25日～28日 天理

3月9日～12日 大阪体育大学

3月16日～19日 大阪体育大学

U19アジア大会直前合宿（於：千葉商科大学）

12月13日～14日

U19アジア大会（於：台湾、高雄）

12月14日～23日

7人制の部・優勝、15人制の部・優勝

U19FW合宿

2月10日～11日 天理

2月17日～18日 立正大学

U19BK合宿（於：天理）

2月24日～25日

U17ブロック講習会

北海道5 / 3～5 富良野

東北6 / 30～7 / 2 岩手・北上

関東6 / 23～25 山梨・石和

北信越6 / 23～25 長野・菅平

東海6 / 23～25 岐阜・長良川メモリアル

近畿6 / 9～11 奈良・天理

中国3 / 17～19 山口・依山

四国3 / 18～19 愛媛・久万高原

九州3 / 18～20 大分・湯布院

セブンス

アジア競技会出場 ドーハ

金メダル獲得

活動実績

3月25日～4月2日：2006香港セブンス

4月3日～4月10日：シンガポールセブンス

4月21日～4月23日：国内合宿（辰巳）

5月22日～5月29日：スペインセブンス

7月5日～7月10日：国内合宿およびJISS検査

10月31日～11月6日：シンガポールクリケットセブンス
11月21日～11月25日：アジア競技会直前合宿
12月2日～12月12日：アジア競技会（ドーハ）
2月27日～3月4日：2007年度スコッド合宿
3月19日～24日：香港・アデレードセブンス直前合宿
3月25日～4月2日：2007香港セブンス

ATQ

2011年ラグビーワールドカップにおいて日本代表が決勝トーナメント（ベスト8）進出することを目的とした、若手育成プロジェクト「ATQプロジェクト」を計画し、その実行に向け、以下の活動を行った。

ハイ・パフォーマンス・マネージャー、トニー・フィルプ就任

U23日本選抜「YAMATO」、U23外国人選抜「SOUL」

6月8日～10日：直前合宿 福島県Jヴィレッジ

6月11日：U23日本選抜 17 - 17 U23外国人選抜
海外選手派遣拠点視察

11月20日～12月6日

ニュージーランド：カンタベリー、ワイカト
オーストラリア：クインズランド、NSW

国内アカデミーキャンプ

3月14日：ATQスコッド、アカデミー対象者発表

3月16日 - 19日：第1回ATQアカデミー合宿実施
千葉県日本エアロビクスセンター 参加者19名

2. トレーナー部門

ラグビーにおけるトレーナーの位置付けを明確にするとともに人材育成に注力し、セミナー、研修会を開催した。

期日：2007年3月4日（日）～5日（月）

場所：筑波大学 東京キャンパス茗荷谷校舎

U23、U19、高校代表、7 S各代表スコッドのトレーナー担当として海外遠征・強化合宿等に延べ173日、195名を派遣

3. メディカルコミッティー部門

1. 総会

第一回総会 7月2日 ジャパンクラブ

第二回総会 11月5日 秩父宮会議室

第三回総会 3月24・25日 秩父宮会議室

2. 日本協会主催試合医務担当

- ・マッチドクター、メディカルコミッショナーの派遣
- ・来日外国チームへのメディカルサポート
- ・高校東西対抗出場選手メディカルチェック

3. 日本代表医務担当

4. 帯同ドクターの派遣

日本代表、U23代表、U19代表、高校代表

5. 7人制代表へのメディカルサポート

6. トップリーグ・メディカルコントロール部会

・総会 7月16日 秩父宮会議室

・トレーナー会議 11月4日 秩父宮会議室

・チームドクター会議 3月25日 秩父宮会議室

4. インテグレイト部門

High School Rugby Skill up Camp in 菅平

トップコーチ、ユースコーチによる正しく安全な技術の指導、安全対策講習会、高校代表豪州遠征報告等

U19スクラムプロジェクト会議の開催

IRBによるスクラムに関するルール変更の検討

U19スクラム合宿

5. ルール部門

次の事業を実施した

1. IRB改正ルールの翻訳
2. 平成18年度日本協会競技規則発刊
3. 新ルールの適正な運用のため関連委員会
4. IRB改正ルールの翻訳・詳細内容について最終確認・邦文競技規則の書き換え
5. 改正ルールを機関誌及びホームページ等で解説
6. 平成19年度ルールブック作成について検討

6. レフリー部門

1. 委員会開催

全体会の開催

総務委員会の開催

2. レフリー研修活動

若手有望レフリー研修会

4月2日（日）～4日（火）

高校選抜大会（熊谷）

サニックス・ワールドユース交流大会

4月29日（土）～5月5日（金）

A2トップ10実技研修

関東地区 7月1～2日 帝京大学百草G

関西地区 6月24～25日 花園ラグビー場ほか

九州地区 8月12～13日 阿蘇青少年交流の家

「チーム15」北海道研修 8月3日（木）～6日（日）

三地域トップレフリー研修 8月18日～21日

長野県菅平高原「エリアパーク」

若手トップレフリー研修会 8月25～28日

長野県菅平高原「エリアパーク」

アジアパネルレフリー研修会 8月24～28日

長野県菅平高原「さわがに」

A2レフリー研修 12月29～30日

大阪花園ラグビー場 都ホテルほか

アカデミーレフリー研修

「チーム15」集合研修

第1回 5月20～21日 ジャパンクラブ

第2回 7月1～2日 日本青年館

第3回 10月28～29日 鉄鋼会館

第4回 3月17～18日 ジャパンクラブ

日本トップリーグ連携機構主催 審判研修会

8月12～13日 茨城県つくば市 ホテルグランド東雲

3. 評価活動・コーチング活動
 アセッサー研修
 アセッサー活動
 レフリーコーチ活動
 平成19年度のA・A1ランキングの審議
4. 海外派遣・交流
 派遣関係
 U19ワールドカップ
 U21ワールドカップ
 ワールドカップ・アジア予選
 スリランカ・セブン大会
 バンコク・セブン大会
 シンガポール・セブン大会
 アジア大会
 アジアU19大会
 グアムズ10大会
 I R B セブン大会
 I R B テストマッチ
 研修関係
 ・アカデミーレフリー研修 オーストラリア
 ・レフリー研修 オーストラリア・ブリスベン
 ・オーストラリアレベル 研修
 ・I R B レフリーコーチ研修会 香港
 招聘関係
 ・ワールドカップアジア予選
 4月16日(日) 日本対アラビアンガルフ
 ブレア・コリア氏(香港)
 4月23日(日) 日本対韓国
 ブレア・コリア氏(香港)
 ・親善・テストマッチ
 5月10日(水) 日本A対グルジア(大阪)
 ブレット・ボーデン氏(豪州)
 イアン・ハンプトン氏(香港)
 5月14日(日) 日本対グルジア
 ブレット・ボーデン氏(豪州)
 イアン・ハンプトン氏(香港)
 6月11日(日) 日本対イタリア
 スコット・ヤング氏
 リンドン・ブレイ氏、ポール・マークス氏
 ・パシフィック5ネーション
 6月4日(日) 日本対トンガ(福岡・北九州)
 ブライス・ローレンス氏
 スコット・ヤング氏
 7月1日(土) 日本対フィジー(大阪)
 ウェイン・パーネス氏
 ジョナサン・ホワイト氏
 ・トップリーグ
 レフリーコーチ;テリー・オコーナー氏(豪州)
 ジェフ・アクトン氏(豪州)
 ジェームス・リスキー氏(豪州)
5. 備品・消耗品関係
 I R B レベル1T J マニュアルのC D 化

I R B レベル1コース・映像DVD化
 その他

7. コーチ部門

- 指導者育成
 強化コーチ養成講習会年
 7月28～8月2日新松戸
 トップチームコーチIRBレベル4講習会
 11月10～13日東京
- 研修会開催
 トップチームコーチ会議開催 7月2日 東京
 RBエドゥケーター養成講習会
 7月28～8月2日 新松戸
 トップチームコーチトピック研修会
 3月7日 東京
 公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会
 3月24～25日 新松戸
- 講師派遣
 九州協会トップコーチ会議への講師派遣
 関西協会トップコーチ会議への講師派遣
 育成コーチ養成講習会への講師派遣
- コーチング研究
 RBコーチ教育に関する会議への出席平
 2月19日～24日 ロンドン
- 部門会議等
 競技力向上委員会総会
 コーチ養成部門会議
 指導教材検討会議
 IRB調整会議
 競技別指導者育成講習会準備会議
- 出版・広報
 強化コーチ養成講習会用資料集印刷
 新スタートコーチ養成講習会用資料集印刷
 コーチングの指針増刷
 新スタートコーチ認定書増刷
 「キッズラグビー個人スキルの指導」作成
- コーチネット構築
 データベース検討

8. 科学情報部門

次の事業を実施した。

- ラグビー科学研究発行
- 内外への科学研究情報の発信
- トップリーグ分析
 ・分析方法検討(5月-8月)
 ・集計及び分析(9月-3月)
- コーチ部門支援
 ・強化コーチ研修 流通経済大学
- レフリー部門支援
- 医事部門支援
 ・国内試合時における傷害映像の提供を依頼に応じてサポート

9. AIR部門

次の事業を実施した。

1. AIRキット/キッズ支援
・フィリピン協会/タイ協会/ラオス協会/イラン協会への指導教材支援
2. プログラムサポート
・競技会コンサルテーション、7月9日～12日
モンゴル国際7人制大会に派遣
3. AIRコンファレンスの開催 流通経済大学
4. 情報サポート
・AIR NEWS HEAD LINEの発進

8. 日本代表事業部

次の事業を実施した。

1. 2007W杯出場権の獲得のためのゲームプラン等の立案・実行および遠征・合宿・試合
日本代表強化合宿(フランス・ダックス)
3月30日～4月13日
強化試合
4月1日 日本(36-13)ダクス選抜
4月4日 日本(17-35)ユニャック選抜
4月5日 日本(25-15)バスク選抜
4月9日 日本(20-12)チュニジア代表
グルジア代表来日
5月14日(花園ラグビー場)
日本代表(32-7)グルジア代表
イタリア代表来日
6月11日(秩父宮ラグビー場)
日本代表(6-52)イタリア代表
日本協会創立80周年記念試合兼RWCアジア最終予選壮行試合(秩父宮ラグビー場)
11月4日 日本代表(19-61)豪州首相XV
日本代表強化試合
11月10日ナイター(国立競技場)
日本代表(22-29)レッズ(スーパー14参加チーム)
2. 第8回日韓定期戦 4月23日(秩父宮ラグビー場)
日本代表(50-14)韓国代表
3. IRBパシフィック・ファイブネーションズ
6月4日 日本代表(16-57)トンガ代表(本城陸上)
6月17日 日本代表(9-53)サモア代表(NZ)
6月24日 日本代表(8-38)NZジュニア(NZ)
7月1日 日本代表(15-29)フィジー代表(長居)
4. 1RWC2007アジア地区一次予選
4月16日(秩父宮ラグビー場)
日本代表(82-9)アラビアンガルフ代表
4月23日(秩父宮ラグビー場)
日本代表(50-14)韓国代表
5. RWC2007アジア地区最終予選(香港)
11月18日 日本代表(52-3)香港代表
11月25日 日本代表(54-0)韓国代表
日本代表2007W杯出場権獲得

特別委員会

安全対策委員会

平成18年度 安全対策委員会 事業報告

1. 安全対策委員会の開催
6月25日・平成19年1月21日
2. タックルの安全対策DVD作成・配布
3. 三地域協会別都道府県安全対策委員長会議開催及び講習会開催
7月 関東協会(高森秀蔵・山田睦雄)、関西協会(山田睦雄)、九州協会(高森秀蔵・山田睦雄)が講師として参加
4. 協会ホームページに「夏季合宿を前にした注意・喚起」の掲載
5. スキルアップ研修会(8月)において安全対策講習会の実施。高森秀蔵、石渡利昭、山田睦雄、鎌田重行が講師として協力
6. 練習環境アセスメントに関する全国調査(高校対象)の実施及び結果報告
7. U19国際ルールに戻すための環境整備会議(10月)高森秀蔵が参加
8. 重傷障害報告の継続・事故対策の実施

アンチ・ドーピング委員会

1. ドーピング検査の実施
委員会が行った検査132検体:日本協会経費44検体(すべて競技会検査)、JADA委嘱事業経費84検体(競技会検査76検体、競技外検査8検体)、IRB経費4検体(すべて競技会検査)
2. 検査結果
1例でT/ET>4であったが、精密測定によって生理的なものと判断し、陰性。その他もすべて陰性
3. 代表選手の居場所情報(選手=IRB,JADA)の管理およびTUE申請:委員会の行った検査以外に、居場所情報に基づく競技外検査48検体(IRB25検体、JADA23検体)が実施された。
4. 教育・啓蒙活動:大学選手権、全国高校大会出場校にJADAガイドブックの配布。機関誌に「2007年ドーピング禁止リストの変更点について」を掲載。

創立80周年記念実行委員会

協会創立80周年を記念して次の行事を実施した。
11月4日記念試合兼アジア地区壮行試合
日本代表 19-6 豪州首相XV
(秩父宮ラグビー場)
式典(パレス ホテル)
ラグビー競技の振興・普及・発展に貢献していたが、報道関係 9社・施設関係 4社
・団体 1へ感謝状
および協会関係 14名に表彰状を授与した。
記念祝賀会(パレス ホテル)
スポーツ団体・企業・メディア・チーム・選手等

多くの方が出席した。(1006名)
協会創立80周年記念誌の発刊

九州ラグビーフットボール協会

1. レフリー委員会

・各県委員長会議:

6月18日:佐賀 12月18日:福岡
3月12日:福岡

・レフリー研修会・認定講習会

・九州地区トップレフリー研修会(8月・長崎)
・九州地区B級レフリー研修会、認定講習会
(8月・筋湯)

・各種大会へのレフリーの派遣・各県試合会場

2. 社会人委員会

・第44回木元杯7人制大会(4月9日・福岡)

優勝 Aパート 九州電力 Bパート 川南クラブ

・第25回教員大会(7月30日)鹿児島

・第26回国体ブロック大会(8月19日~22日・熊本)
決勝 長崎県 41 - 23 宮崎県

・第35回トップキュウシュウリーグ戦
(9月~11月各地)

Aリーグ 1位 九州電力 2位 マツダ

Bリーグ 1位 東芝大分 2位 新日鐵八幡

・トップキュウシュウリーグA・B入替戦
(12月 福岡)

J R九州(残留) 36 - 0 新日鐵八幡

三菱自動車水島 19 - 31 東芝大分(Aリーグ昇格)

トップリーグチャレンジマッチ(1月)

1位Gr 九州電力 49 - 12 三菱重工相模原

九州電力 41 - 21 近 鉄

九州電力トップリーグ昇格

2位Gr マツダ 12 - 78 東京ガス

マツダ 10 - 74 ホンダ

・各県委員長会議開催(11月・沖縄)

・トップ九州リーグスケジュール会議(2月・福岡)

3. クラブ委員会

・九州惑大会(6月18日・鹿児島)

・第2回九州トップクラブリーグ(9月~11月・各地)

1位 帆柱クラブ 2位 ウルトラマンクラブ

・第32回クラブ・実業団大会(11月18日19日・福岡)

決勝 山形屋 78 - 3 別府クラブ

・各県委員長会議開催(6月・福岡、11月・福岡)

4. 大学委員会

・第45回九州山口医科系大学大会

(4月29日~5月7日)

・学生強化およびリーグ講習会(5月19~21日・福岡)

・第44回商経大学大会(6月10日~13日・大分)

決勝 九州共立大 27 - 24 鹿児島大

・第56回九州地区大学大会(6月24日~28日・熊本)

決勝 九州共立大 24 - 17 福岡大学

・第14回九州学生リーグ(9月~11月・福岡他)

1位 福岡大学 2位 福岡工業大学

・第6回九州地区対抗大学大会

(11月18日~21日・宮崎)

決勝 日本文理大 53 - 22 第一経済大

・学生リーグ入替戦(12月8日~9日・福岡)

部 鹿児島大(残留) 52 - 21 北九州市立大

部 熊本大(残留) 54 - 7 第一経済大

・各県委員長会議開催(7月・12月・福岡)

5. 高専委員会

・高専チームリーグ講習会(3月31日~4月2日・八代)

・第16回九州高専新人大会(5月27日~28日・福岡)

15人制 都 城 17 - 10 久留米

7人制 熊本電波 19 - 0 大分

・各県委員長会議開催(11月・佐世保)

・第43回九州高専大会(11月18日~21日・福岡)

優勝 佐世保高専 17 - 7 久留米高専

6. 高校委員会

・関東高校選抜交流戦(4月15日・江戸川)

九州 14 - 25 関東

・2006ワールドユース交流大会

(4月29日~5月5日・福岡)

・第59回全九州高校大会(6月17日~20日・宮崎)

1位Gr 決勝 東福岡 38 - 12 大分舞鶴

2位Gr 決勝 筑 紫 31 - 10 延岡東・星雲

・第25回国体ブロック大会(8月19日、21日・熊本)

Aブロック 決勝 大分県 14 - 0 佐賀県

Bブロック 決勝 長崎県 31 - 26 福岡県

・第86回全国大会各県予選(9月~各県)

・第29回全九州高校新人大会

(2月17日~20日・熊本)

1位Gr 決勝 東福岡 51 - 7 熊本西

3位戦 長崎北陽台 66 - 7 鹿児島玉龍

2位Gr 決勝 筑 紫 27 - 0 長崎南山

・その他強化合宿(夏・春)・指導会・各県委員長会議

・第2回クラブユース交流戦(3月11日)

福岡ユース 10 - 49 神戸SCIXユース

7. コーチ委員会

・新スタートコーチ認定講習会

(10箇所 219名認定)

・育成コーチ養成講習会開催

(佐賀県:受講者 12名)

・ブラッシュアップ研修会(7月・福岡)

・各県委員長会議(4月、12月)

8. 中学生委員会

・第19回九州中学校大会(8月2日~5日・鯛生)

Aパート 決勝 帯山中 33 - 10 高鍋西中

Bパート 決勝 富島中 38 - 10 出水中

・第28回九州ジュニア大会

AGr 決勝 草ヶ江YR 36 - 5 中鶴少年RC

BGr 決勝 かしいYR 19 - 10 長崎RS

・第7回九州ジュニアブロック大会

(10月7日~9日・熊本)

- 決勝 福岡県 40 - 19 長崎県
- ・ 第8回九州ジュニアジャンボリー大会
(19年1月27・28日・福岡、19年3月3・4日・大分)
 - ・ 各県委員長会議(4月・8月・10月)
 - ・ インストラクター講習会(10月10日～11日・熊本)
9. 普及委員会
- ・ タグフェスタ I N
長崎(6月)・鹿児島(7月)・宮崎(8月)
佐賀(10月)・熊本(10月)・福岡(10月)
沖縄(10月)・大分(11月)女子沖縄(11月)
 - ・ タグ指導者講習会
宮崎(6月)・沖縄(7月)・佐賀(7月)
長崎(8月)・鹿児島(8月)・大分(9月)
 - ・ 第33回少年ラグビー交歓会
(8月18日～20日・阿蘇)
 - ・ ミニ・ラグビー交流大会
第7回西九州交流大会(9月24日・佐賀)
第7回東九州交流大会(11月3日・熊本)
南九州大会交流大会(12月3日・鹿児島)
 - ・ 第1回九州女子タグラグビー大会
(12月10日・鹿児島)
 - ・ ミニ・ラグビー指導者講習会
宮崎(7月)・鹿児島(7月)
 - ・ サントリーカップ全国大会予選
(11月～19年2月:各県)
 - ・ 普及委員会(5月13～14日、1月20日)
10. 安全対策委員会
- ・ トップコーチ安全対策合同研修会(7月)
 - ・ メディカル・安全対策委員会合同総会(3月)
11. 強化・セレコン委員会
- ・ 九州代表・学生代表強化合宿(2月)
 - ・ 社会人・学生試合視察(10月～1月)
 - ・ クラブ選抜対学生選抜試合(3月4日:熊本)
クラブ選抜 14 - 40 学生選抜
 - ・ 九州代表試合関係
三地域対抗
九州 24 - 28 関西(2月18日:花園)
九州 19 - 42 関東(2月25日:熊本)
 - ・ 第57回朝日招待ラグビー (3月11日:福岡)
九州 27 - 35 関東学院大
 - ・ 強化・セレコン会議(1月)
12. 総務委員会
- ・ 会員名簿の作成(7月)
 - ・ 主要スケジュール・メンバー表の作成・配布
 - ・ 九州・各県公式試合の編成・発行
 - ・ 各新聞における関係記事のスクラップ
13. 広報委員会
- ・ 日本協会機関誌「協会だより」への投函(5回)
 - ・ ホームページの更新(都度更新)
 - ・ トップリーグ共同記者会見の開催
 - ・ 各リーグ戦・報道関係懇親会(9月9日)
 - ・ 各委員会との連携によるファン拡大・観客増に
- 向けた取組み
14. メディカル委員会
- ・ 公式戦への医師派遣 1,500試合(4月～3月・各県)
 - ・ 公式戦指定試合のドーピング検査 各県
 - ・ 日本代表帯同医師派遣協力 10回
 - ・ 総務委員会(8月27日・福岡)
 - ・ 安全対策合同総会(3月10日・福岡)
 - ・ 三地域連絡協議委員会(年2回・東京)
 - ・ トップリーグメディカルコントロール 10試合
 - ・ 日本協会医・科学委員会総会(3月・東京)
15. 個人登録制度(傷害見舞金共済運営事業)
- <登録>
 - ・ 登録状況 509チーム(-4) 18,287人(+20)
 - <傷害見舞金>
 - ・ 傷害審査件数 110件(-17)内、重症事故 4件
 - ・ 見舞金 3,815千円(+36千円)
 - ・ 審査委員会は年12回開催
16. 招待試合
- ・ 第57回朝日招待ラグビー(3月11日・福岡)
九州代表 27 - 35 関東学院大